

エコアクション21 環境経営レポート 2023

セントラル梱包株式会社



報告対象活動期間 2023年5月1日～2024年4月30日

発行日 2024年5月16日

目 次

1	組織概要・・・・・・・・・・	2
2	エコアクション21の取組対象範囲・・・・・・・・	3
3	環境経営方針・・・・・・・・	4
4	環境経営目標・・・・・・・・	5
4-1	環境経営方針・環境経営目標・環境経営活動総括表	
4-2	環境経営目標の達成状況の確認（実績）	
4-3	環境経営目標の実績評価	
5	環境経営活動計画・・・・・・・・	8
5-1	環境経営活動計画の実施状況と取組結果の評価	
5-2	次年度の取組内容について（方針）	
6	代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・	9
6-1	前回の指示への取組結果について	
6-2	今回の指示	
6-3	今回の評価結果	
7	環境関連法規等の遵守状況の確認の結果並びに違反、訴訟等の有無・・・	10
8	弊社の記録の管理方法・・・・・・・・	10

【1】組織概要

弊社の組織概要は、次の通りです。

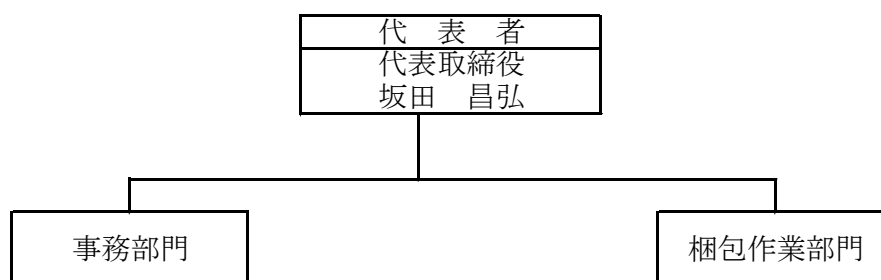
- 事業所名 セントラル梱包株式会社
- 代表者名 代表取締役社長 坂田 昌弘
- 所在地 〒340-0006 埼玉県草加市八幡町130-4
- 電話番号 TEL：048-931-1311
- FAX番号 FAX：048-935-4536
- 環境管理責任者 坂田 昌弘
E-mail m-sakata@sentrals.co.jp
- 認証・登録
事業活動（対象範囲）：国内・輸出梱包、パレット製造、ダンボール販売
対象事業所：本社・工場
- 資本金 3400万円
- 従業員数 8名
- 売上高 112百万円（2023年度）
- 事業所の延床面積 330㎡
- 事業所の敷地面積 300㎡

【2】エコアクション21の対象範囲（認証・登録）

弊社は全組織、全活動、全従業員を対象範囲としてエコアクション21に取り組んでいます。

組織	本社・工場
事業活動	国内・輸出梱包、パレット製造、ダンボール販売
従業員数	8名

組織図



事務部門 坂田昌弘

梱包作業部門 長門政明

	役割・責任・権限
代表取締役社長	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限を持つ ②環境方針を策定し、従業員に周知する ③資源(人・もの・金)の用意をする ④EA21 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ⑤環境萱理責任者、環境委員等を任命する
環境管理責任者	①EA21 ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21 文書類の承認をする
全従業員	① 環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う ②環境方針、環境目標、環境活動計画を全員で実行する ③法規制等を遵守する ④教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する

【3】環境経営方針

基 本 理 念

セントラル梱包株式会社は、国内・輸出梱包各種パレット製造・及びダンボール販売を主事業とし、「環境負荷低減活動」に向け全力で継続的改善に取り組むことを努めます。また木材の再利用での事業を取り込んでまいります。

経 営 方 針

1. 梱包作業を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組めます。
2. 梱包作業を通じて、一般廃棄物及び産業廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組めます。特に、木材の再利用等により木くずの削減を図ります。
3. 梱包作業を通じて、総排水量（水の総使用量）の抑制、削減に取り組めます。
4. 従業員一人ひとりが環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組めます。
5. 環境に関する法規等を遵守します。

作成： 平成22（2010）年5月1日

改訂： 平成23（2011）年9月5日

改定： 令和5（2023）年5月10日

セントラル梱包株式会社

代表取締役社長 坂田昌弘

【４】環境経営目標

4-1 環境経営方針・環境経営目標・環境経営活動総括表

活動方針	環境経営目標			環境経営計画
	内 容	中長期環境経営目標 2024 年 5 月～2026 年 4 月	今年度環境経営目標 2023 年 5 月～2024 年 4 月	今年度環境経営計画 2022 年 5 月～2023 年 4 月
1. 梱包作業を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。	運搬車両（トラック）から出る軽油由来の二酸化炭素排出量の削減	前年度数値を超えない	前年度数値を超えない	・各車両の燃費の月別管理 ・エコドライブの徹底 ・運転前点検の実施
	フォークリフト、営業車両のガソリン由来の二酸化炭素排出量の削減	前年度数値を超えない	前年度数値を超えない	・各車両の燃費の月別管理 ・エコドライブの徹底 ・運転前点検の実施・
	事務部門からの二酸化炭素排出量の削減	前年度数値を超えない	前年度数値を超えない	・こまめな消灯 ・空調設定温度の徹底
	梱包材現場からの二酸化炭素排出量の削減	前年度数値を超えない	前年度数値を超えない	・こまめな消灯 ・電動機器の適正使用
	全社からの二酸化炭素排出量の削減	前年度数値を超えない	前年度数値を超えない	・上記全てを行う
2. 梱包作業を通じて、一般廃棄物及び産業廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組みます。特に、木材の再利用等により木くずの削減を図ります。	事務部門から出る事業系一般廃棄物の削減	前年度数値を超えない	前年度数値を超えない	・分別の徹底による再資源化物を増やす
	梱包材現場からの二酸化炭素排出量の削減	前年度数値を超えない	前年度数値を超えない	・廃棄物の分別徹底による再利用物を増やす ・廃ブラ（顧客製品詰め替え時発生材）を顧客へ返却する
3. 梱包作業を通じて、総排水量（水の総使用量）の抑制、削減に取り組めます。	水野総使用量の削減	前年度数値を超えない	前年度数値を超えない	・こまめな節水に努める
4. 従業員一人ひとりが環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組みます。	地域の美化運動	毎月 1 回の地域美化運動を行う	毎月 1 回の地域美化運動を行う	・会社の周辺の美化活動を行う

＊弊社は、P R T R 法に該当する化学物質の使用・保管はしておりません。

4-2 環境経営目標の達成状況の確認（実績）

内容	今年度(令和5(2023)年度)				
	目標	目標値 (基準年度数値)	実績値	達成率	達成状況
101 収集運搬車両(トラック)から出る二酸化炭素を削減	前年度数値を超えない (軽油 L)	5,045	1,963	257.0%	達成
102 フォークリフト・営業車から出る二酸化炭素を削減する	前年度数値を超えない (ガソリン L)	3,632	1,377	263.8%	達成
103 事務部門から出る二酸化炭素を削減する。	前年度数値を超えない (低圧電力 kWh)	5,502	5,238	105.0%	達成
104 梱包作業部門から出る二酸化炭素を削減する。	前年度数値を超えない (動力電力 kWh)	12,611	12,269	102.8%	達成
105 全社から出る二酸化炭素排出量を削減する。	前年度数値を超えない (kg-CO2)	18,113	15,998	113.2%	達成
201 事務部門から出る事務系一般廃棄物を削減する。	前年度数値を超えない (kg)	2,410	1,710	140.9%	達成
202 梱包作業部門から出る材木の廃材を削減する。	前年度数値を超えない (kg)	8,020	5,630	142.5%	達成
301 水の総使用量を削減する。	前年度数値を超えない (m3)	131	125	104.8%	達成
401 グリーン購入の実施	100%	100%	100%	100%	達成

弊社では PRTR 法に定める化学物質の取り扱いはありませんので、環境目標に化学物質の削減を設定していません。

電力の CO2 換算係数は東京電力 0.442（実排出係数）を使用しました。

二酸化炭素排出量：kg-CO2/ kWh

廃棄物排出量：kg 水使用量：m³ 化石燃料使用量：L

4-3 環境経営目標の実績評価

環境目標		達成状況	目標の設定方法やレベル設定の問題点	次年度の目標設定の考え方の課題	取組方法の問題点	次年度の取組方法の考え方
内容	今年度目標 令和5(2023)年度					
101 収集運搬車両(トラック)から出る二酸化炭素を削減	前年度数値を超えない	達成	妥当レベル	現状継続	特に無し	現状継続
102 フォークリフト・営業車から出る二酸化炭素を削減する	前年度数値を超えない	達成	妥当レベル	現状継続	特に無し	現状継続
103 事務部門から出る二酸化炭素を削減する。	前年度数値を超えない	達成	妥当レベル	現状継続	特に無し	現状継続
104 梱包作業部門から出る二酸化炭素を削減する。	前年度数値を超えない	達成	妥当レベル	現状継続	特に無し	現状継続
105 全社から出る二酸化炭素排出量を削減する。	前年度数値を超えない	達成	妥当レベル	現状継続	特に無し	現状継続
201 事務部門から出る事務系一般廃棄物を削減する。	前年度数値を超えない	達成	妥当レベル	現状継続	特に無し	現状継続
202 梱包作業部門から出る材木の廃材を削減する。	前年度数値を超えない	達成	レベルが高い	目標を下げる	特に無し	現状継続
301 水の総使用量を削減する。	前年度数値を超えない	達成	妥当レベル	現状継続	特に無し	現状継続
401 グリーン購入の実施	100%	達成	100%	100%	100%	現状継続
402 地域の美化	毎月1回	達成	毎月1回	毎月1回	100%	現状継続

【5】環境経営計画

5-1 環境経営計画の実施状況と取組結果の評価

5-2 次年度取組内容について

5-1 及び 5-2 をあわせて、次表のようにまとめます。

活動方針	環境経営計画	評価項目			次年度の取組内容についての方針
		スケジュール遅延の有無	責任者・担当者の設定	取組方法は是正の有無	
101 収集運搬車両(トラック)から出る二酸化炭素を削減する。	101① 各車両の燃費の月別測定・監視	○	○	○	左記を継続する
	101② エコドライブの徹底	○	○	○	左記を継続する
102 フォークリフト・営業車から出る二酸化炭素を削減する	102① 各車両の燃費の月別測定・監視	○	○	○	左記を継続する
	102② エコドライブの徹底	○	○	○	左記を継続する
103 事務部門から出る二酸化炭素を削減する。	103① 必要でない照明、電気を消す。	○	○	○	左記を継続する
	103② エアコンの設定温度夏を28度、冬22度を目安とする。	○	○	○	左記を継続する
104 梱包作業部門から出る二酸化炭素を削減する。	104① 必要でない照明、電気を消す。	○	○	○	左記を継続する
105 全社から出る二酸化炭素排出量を削減する	[101①～104②による]	○	○	○	左記を継続する
201 事務部門から出る事務系一般廃棄物を削減する。	201① 分別の徹底により再資源化物を増やす。	○	○	○	左記を継続する
202 梱包作業部門から出る材木の廃材を削減する。	202① 廃棄物の分別徹底による再利用を増やす。	○	○	○	左記を継続する
	202② 廃プラ(顧客製品詰替え時発生)を顧客へ返却する。	○	○	○	左記を継続する
301 水の総使用量を削減する。	301① 水を使用する場合は、こまめに蛇口を開閉するなど節水に心がける。	○	○	○	左記を継続する
401 グリーン購入の実施	401① グリーン製品の購入。	○	○	○	左記を継続する
402 地域の美化	402① 会社・材料置き場外回りを清掃する。	○	○	○	左記を継続する

○ 特に問題無し

【6】代表者による全体評価と見直しの結果

6-1 前回の指示への取組結果について

前回の指示が、今年度の活動に取り入れられていると思います。

6-2 今回の指示

今回は次のように指示されました。

				代表者 (作成)
				昌坂 弘田
				2024/5/11
見直し項目			変更の必要性	環境管理責任者への指示事項
環境経営システム			不要	現状継続でよい
環境への取組み	環境経営方針		不要	現状継続でよい
	環境経営目標	今年度	不要	現状継続でよい
		中長期	不要	現状継続でよい
	環境経営計画		不要	現状継続でよい
	是正処置の実施		不要	現状継続でよい
	予防処置の実施		不要	現状継続でよい
	環境関連法規等の遵守		不要	現状継続でよい

【7】環境関連法規等の遵守状況の確認の結果並びに違反、訴訟等の有無

弊社が遵守しなければならない環境関連法規として、「廃棄物処理法」、「植物防疫法」「フロン排出抑制法」等がありますが、これらの法律の規制遵守のために一覧表を作成し、定期的に遵守状況を自主チェックし、法規制の違反は無いことを確認しています。

また、関係当局よりの違反等の指摘や環境に関する訴訟は過去3年間ありませんでした。

【8】弊社の記録の管理方法

弊社の環境関連の記録類につきましては、環境管理責任者が3年間保管し、以後はリサイクルの推進を配慮して、廃棄方法を適正に選択し、処理しております。